

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野 I	日常生活援助 技術論演習 I	1	30	1 年次	4 月	高木佳寿美 東垂水朋子
<b>授業概要</b> 療養生活の環境を構成する要素を理解し、病室・病床の環境のアセスメントと調整について学ぶ。 ベッド周囲と病床の環境整備、ベッドメイキング、リネン交換の実際について学ぶ。 姿勢の基礎知識、ボディメカニクスの原理を理解し、体位変換と移乗・移送の方法を学ぶ。また、睡眠と睡眠障害について理解し、睡眠に障害をもつ対象への援助について学ぶ。						
<b>到達目標</b> 1.対象における環境の意義とその調整技術についての、基礎的な知識及び技術が習得できる。 2.人間にとっての活動および休息の機能を理解し、活動・休息の援助技術が習得できる。						
<b>使用教材</b> テキスト ①系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ：医学書院 ②看護がみえる① 基礎看護技術，2018：メディックメディア 参考文献等 ①任和子編：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術，医学書院 ②竹尾恵子著：看護技術プラクティス 医療安全と感染管理をふまえた，学研						
<b>評価</b> 筆記試験、学習課題、レポートの提出状況 技術試験（包布を使用したクローズドベッドリネン交換）						
<b>授業計画</b>						
時間・回数	授業内容					方法
6 時間・3 回	1. 療養生活の環境 1) 人と環境 2) 療養生活と環境 3) 生活環境の調整 2. 病室の環境のアセスメントと調整 1) 病室・病床の選択 2) 湿度・温度 3) 光と音 4) 病棟の構造、病床の種類、寝床に必要な条件、 病床としての寝床 3. 援助の実際 1) ベッド周囲の環境整備 <b>【実技：環境整備】</b>					講義 実技

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野 I	日常生活援助 技術論演習 I	1	30	1 年次	4 月	高木佳寿美 東垂水朋子
時間・回数	授業内容					方法
2 時間・1 回	4. 活動の意義 5. 対象における姿勢・体位の意義や充足のための援助技術 1) 姿勢、動作、作業域、ボディメカニクス 2) 基本的な体位、良肢位					講義
2 時間・1 回	6. 休息の意義 7. 睡眠と休息の援助 1) 睡眠の生理 2) サーカディアンリズムとは 3) 生活リズムを整える必要性とその援助					講義
12 時間・6 回	8. ベッドメイキング 【実技：リネンの種類とそのたたみ方】 【実技：下シーツの作り方】 【実技：オープンベッド、クローズドベッドの作り方】 【実技：包布を用いたクローズドベッドの作り方】					講義 実技
6 時間・3 回	9. 対象にとっての安楽の意義 1) 安楽の定義と意義 2) 安楽を阻害する因子 10. 対象における活動、移動の意義や充足のための援助技術 1) 移動動作 2) 体位変換 3) 車椅子、ストレッチャーの移動 【実技：平行移動】 【実技：仰臥位から側臥位】 【実技：枕のあて方】 【実技：担架をもちいての移動】					講義 実技
1 時間・1 回	筆記試験					
1 時間・1 回	技術試験					
備考 ○技術が習得できるように各自で練習を行う。 ○関連科目：解剖生理学、人間工学、日常生活援助技術Ⅱ・Ⅲ、生活とリハビリテーション						